



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2019年11月13日

上場会社名 株式会社HAPiNS 上場取引所 東
 コード番号 7577 URL <https://www.hapins.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柘植 圭介
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 塩塚 哲也 (TEL) 03(3494)4497
 四半期報告書提出予定日 2019年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の業績(2019年4月1日~2019年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	4,469	△0.0	110	81.1	92	424.0	15	—
2019年3月期第2四半期	4,469	11.3	61	164.8	17	2.4	△47	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2020年3月期第2四半期	1.08		—					
2019年3月期第2四半期	△3.21		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	5,302	743	14.0
2019年3月期	5,905	728	12.3

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 743百万円 2019年3月期 728百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年3月期	—	0.00			
2020年3月期(予想)			—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,760	0.6	310	132.5	240	271.2	10	—	0.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2020年3月期2Q	15,000,000株	2019年3月期	15,000,000株
2020年3月期2Q	219,026株	2019年3月期	219,026株
2020年3月期2Q	14,780,974株	2019年3月期2Q	14,780,974株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際には様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
3. その他	9
継続企業の前提に関する重要事象等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善などを背景に個人消費は持ち直し、緩やかな回復基調が継続しているものの、米中の貿易摩擦や今秋の消費税引き上げなど、国内経済への影響が懸念され、先行きの不透明感が増しております。

小売業界におきましては、異業種を含めた企業間競争の激化、天候不順及び全国各地で発生した自然災害の影響、労働力不足による人件費の増加など厳しい経営環境が続いております。

このような経営環境のなかで当社は、『価値の追求へ』『選択と集中』をキーワードに構造改革を推進してまいります。お客様にわかりやすい価値を追求し、わかりやすく伝えていくために商品価値向上と価値訴求の強化を行ってまいります。

前事業年度より新規出店の店舗で先行して実施しておりました取扱い商品数の絞り込みによる戦略商品の販売促進の集中と効率的な店舗オペレーションを既存店へ展開いたしました。こちらの施策により、夏物戦略商品を集中して打ち出すことで売上高の確保と、PB商品の拡大により原価率の改善を図りました。また、課題である既存店の回復については、当第2四半期会計期間の直営既存店売上高の前年比は100.8%と回復に向かっております。

当第2四半期累計期間の出退店の状況は、「HAPiNS」ブランドで直営店4店舗、FC店1店舗出店いたしました。また、短期契約である僱事店舗も含めて、直営店の「HAPiNS」ブランドで7店舗、「PASSPORT」ブランドで3店舗、FC店の「HAPiNS」ブランドで2店舗閉店いたしました。更に、直営店で2店舗の改装を実施しております。その結果、当第2四半期累計期間末の店舗数（短期契約を含む）は、直営店が157店舗、FC店舗が13店舗の計170店舗となっております。

これらの結果、当第2四半期累計期間の売上高は前年同四半期とほぼ同水準の4,469百万円、営業利益は110百万円と前年同四半期と比べ49百万円（81.1%）の増益、経常利益は92百万円と前年同四半期と比べ75百万円（424.0%）の増益、四半期純利益は15百万円と前年同四半期と比べ63百万円（前年同四半期は47百万円の四半期純損失）の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べて603百万円減少し、5,302百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べて476百万円減少し、2,663百万円となりました。これは、主に現金及び預金が116百万円、受取手形及び売掛金が296百万円、商品が15百万円、未着商品が10百万円、その他が未収入金の回収などにより37百万円減少したことなどによるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べて126百万円減少し、2,639百万円となりました。これは、主に有形固定資産が58百万円、敷金及び保証金が57百万円減少したことなどによるものであります。

(負債)

当第2四半期会計期間末の負債合計は、前事業年度末に比べ618百万円減少し、4,558百万円となりました。

流動負債は、前事業年度末に比べて408百万円減少し、2,951百万円となりました。これは、主に短期借入金が30百万円、賞与引当金が32百万円増加したものの、支払手形及び買掛金、電子記録債務の仕入債務が360百万円、1年内返済予定の長期借入金が31百万円、未払法人税等が15百万円、その他が未払消費税等の減少などにより56百万円減少したことなどによるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べて210百万円減少し、1,607百万円となりました。これは、主に社債が約定償還で15百万円、長期借入金が152百万円減少したことなどによるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べて15百万円増加し、743百万円となりました。

これは、四半期純利益15百万円を計上したことなどによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の業績予想につきましては、2019年5月15日に公表いたしました予想に変更はありません。なお、業績予想につきましては、当社が本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	782,753	666,093
受取手形及び売掛金	684,968	388,054
商品	1,478,411	1,463,163
未着商品	61,699	51,538
その他	132,070	95,004
流動資産合計	3,139,903	2,663,855
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,167,420	1,124,156
工具、器具及び備品(純額)	210,498	194,813
その他	16,224	16,296
有形固定資産合計	1,394,142	1,335,265
無形固定資産		
投資その他の資産	73,437	62,467
敷金及び保証金	1,296,678	1,239,649
その他	1,749	1,630
投資その他の資産合計	1,298,428	1,241,280
固定資産合計	2,766,008	2,639,013
資産合計	5,905,912	5,302,869
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,220,138	370,742
電子記録債務	—	488,938
1年内償還予定の社債	30,000	30,000
短期借入金	1,079,600	1,110,000
1年内返済予定の長期借入金	446,210	415,040
リース債務	22,333	19,326
未払法人税等	30,497	15,449
賞与引当金	20,810	52,906
資産除去債務	17,665	12,870
その他	491,847	435,781
流動負債合計	3,359,102	2,951,055
固定負債		
社債	90,000	75,000
長期借入金	999,919	847,400
リース債務	47,318	37,613
退職給付引当金	241,367	234,038
資産除去債務	278,529	275,663
その他	161,647	138,125
固定負債合計	1,818,782	1,607,841
負債合計	5,177,884	4,558,896

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	716,354	716,354
利益剰余金	△28,093	△12,118
自己株式	△60,580	△60,580
株主資本合計	727,680	743,655
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	346	317
評価・換算差額等合計	346	317
純資産合計	728,027	743,972
負債純資産合計	5,905,912	5,302,869

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	4,469,955	4,469,660
売上原価	1,968,017	1,926,233
売上総利益	2,501,938	2,543,427
販売費及び一般管理費	2,440,808	2,432,733
営業利益	61,129	110,693
営業外収益		
受取利息	11	4
受取配当金	31	31
破損商品等弁償金	135	11
雑収入	723	2,823
営業外収益合計	902	2,870
営業外費用		
支払利息	20,391	18,159
支払手数料	16,911	1,660
為替差損	6,992	770
雑損失	1	43
営業外費用合計	44,297	20,634
経常利益	17,734	92,929
特別損失		
固定資産除却損	3,603	214
店舗閉鎖損失	3,255	18,467
減損損失	26,631	46,841
特別損失合計	33,490	65,523
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△15,756	27,406
法人税、住民税及び事業税	14,800	15,000
法人税等調整額	16,962	△3,568
法人税等合計	31,762	11,431
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△47,518	15,975

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	△15,756	27,406
減価償却費	100,882	112,053
減損損失	26,631	46,841
賞与引当金の増減額(△は減少)	209	32,096
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△7,981	△7,329
受取利息及び受取配当金	△42	△35
支払利息	20,391	18,159
店舗閉鎖損失	3,255	18,467
固定資産除却損	3,603	214
売上債権の増減額(△は増加)	105,614	296,913
たな卸資産の増減額(△は増加)	△232,199	25,408
仕入債務の増減額(△は減少)	77,080	△360,458
その他	67,837	△22,222
小計	149,525	187,515
利息及び配当金の受取額	42	35
利息の支払額	△20,674	△19,319
法人税等の支払額	△25,785	△30,047
営業活動によるキャッシュ・フロー	103,108	138,184
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△282,553	△73,252
敷金及び保証金の差入による支出	△73,509	△15,635
敷金及び保証金の回収による収入	37,411	73,219
その他	△14,494	△43,230
投資活動によるキャッシュ・フロー	△333,145	△58,898
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	69,000	30,400
長期借入れによる収入	390,000	50,000
長期借入金の返済による支出	△214,350	△233,690
社債の償還による支出	△50,000	△15,000
リース債務の返済による支出	△7,708	△12,711
割賦債務の返済による支出	△25,043	△14,944
配当金の支払額	△5	—
自己株式の取得による支出	△0	—
その他	△16,000	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	145,891	△195,945
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△84,145	△116,659
現金及び現金同等物の期首残高	773,538	782,753
現金及び現金同等物の四半期末残高	689,392	666,093

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

当社は、当第2四半期累計期間において、営業利益、経常利益、四半期純利益を計上することができましたが、前事業年度においては、営業利益及び経常利益を計上しておりますが、当期純損失となっており、将来にわたって事業活動を継続するとの前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

当該状況を改善・解消すべく、2018年8月1日に商号を「株式会社HAPiNS」に変更し、メインブランドである「HAPiNS」の業態を主軸に、新規出店及び既存店の内装・外観の見直しといったブラッシュアップ、自社オリジナル商品の強化によるブランド力向上に取り組んでおります。

商品におきましては、商品構成の見直し、取扱い商品数の絞り込みによる戦略商品の販売を強化することで粗利益率のさらなる改善に取り組んでおります。また、取扱い商品数が絞りこまれることで、商品補充や在庫管理等、店舗オペレーションの効率化を進めております。

こうした取組みの結果、前事業年度においては当期純損失となっておりますが、営業利益、経常利益を計上しており、また、営業活動によるキャッシュ・フローもプラスとなっております。また、当第2四半期累計期間においては、営業利益、経常利益、四半期純利益を計上するとともに、営業活動によるキャッシュ・フローもプラスとなっており、業績は改善傾向にあり、今後も継続して推進してまいります。

資金面に関しましては、運転資金の調達など取引金融機関からの継続的な支援協力を得ており、今後とも資金調達や資金繰りの安定化に努めてまいります。

上記施策により計画上、継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせるような事象又は状況を解消できると考えており、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しております。